

な発言は少なかった。

- 大陸別に平野の位置をとらえさせる場合、大陸のどのあたりにあり、どのような広がりをもっているかという観点で、広さや位置関係をとらえさせるようにした。しかし児童は、川の名など知識として理解しがちだったため、次時でもとり扱うことにする。
- 作品(白地図)による評価は、授業後に行ったが、作品そのもののよしあしでなく、地勢の概要が正しく位置づけられているかを評価した。

〈第7時〉

① 学習課題の確認

T₁ 前の時間で「世界の地形」を学習したね。六大陸と三大洋を話すことができますか。

〈挙手28名〉

C₁ ユーラシア大陸、アフリカ大陸、北アメリカ大陸、南アメリカ大陸……

T₂ きょうの学習課題はこれですね。

——課題を書いた小黒板提示——

読んでみましょう。

C₂ 世界にはどの位の人がいて、どの地域に多く生活しているか。

前時の学習である地形を、世界地図で概観させた。挙手による評価を行なった結果80%の反応を得たので、ただちに本時の学習課題の確認をした。前時の学習事項を想起させるために、世界地図を掲示したが、学習課題の「どの地域」を考える上でも児童は、手がかりになったと考えられる。

② 課題解決の方法

T₁ この学習課題を解決していくのに、どんなことから調べたらよいでしょう。

〈挙手25名〉

C₁ 世界にどの位の人がいるかがその一つです。

C₂ 世界の総人口を調べることです。

T₂ そうですね。それから 〈挙手10名〉

C₃ その人口の多いところは、どこかです。

C₄ 州別の人口

C₅ どうして、そこに人口が多いのかも調べる。

T₃ もう一つは、地域ということで、どの地域に多く集中しているかを調べていきましょう。○○州のどのあたりが多いかな。

T₁の発問に対してより、T₂の発問に対する反応が少ないのは、C₃は「どこか」、C₄は「州別」というように、「どの地域」のは握が、足りなかったからであろう。T₃はそこで補足したわけである。

③ 資料の収集と選択(吟味)

T₁ これらのことを調べるのは、みなさんはどんな資料を用意しましたか。

C₁ 地図帳、社会科資料集などです。

C₂ 教科書の中から

C₃ 学習年鑑です。

T₂ それでは、世界の人口を調べるには、みなさんが持ってきた地図帳、社会科資料、教科書などのどこにその資料がありますか。

C₄ 地図帳の57ページの各国の人口表

C₅ 社会科資料集89ページです。

——世界の人口分布、州別人口の割合などの4図が掲載されている——

C₆ 地図帳の47ページの⑤の資料です。

C₇ 教科書の15ページの上のらんの円グラフがあります。

T₃ たくさん出ましたが、そのほかのみなさんは、どれを選びましたか。手を上げてください。

——観察(挙手)による——〈評価1〉

T₄ みなさんが選んだわけを発表してください。

C₈ 教科書の資料がいいと思います。そのわけは、1973年の統計で、資料集のほうは下